

群 教 ゼ	F08 - 01
	平14.210集

自ら考え、行動する児童を育てる 指導の工夫

お年寄りとの交流をとおして

特別研修員 大工原 さゆり（板倉町立北小学校）
共同研究者 伊 藤 亜矢子（お茶の水女子大学）

《研究の概要》

本研究は、小学校6年生を対象としてソーシャルスキルトレーニングと構成的グループエンカウンターを総合的な学習の時間「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」の中で実施し、お年寄りとの交流場面において児童がそれらを生かして自ら考え、行動することを目指したものである。それらを児童の実態に合わせて工夫して繰り返し実施することによって、児童は学校や家庭生活においても自ら考え、行動できるようになった。

【キーワード：生徒指導 交流 ソーシャルスキル 構成的グループエンカウンター】

主題設定の理由

総合的な学習の時間「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」の活動では、地域の福祉施設を訪問し、福祉について体験し、人とのかかわり方を身につけ、思いやりの心を持ち、積極的に福祉にかかわろうとする姿勢を育むことを目標としている。

本学級の児童は、素直で言われたことはできるが、自分の意見を人前で発表することや新しい人間関係を作ることに消極的になってしまう。また、自分の思いが相手にうまく伝わらず、友人関係で悩む様子も見られる。しかし、最高学年として、一人一人がいろいろな場面でリーダーになり、積極的に行動することを求められているのである。

一方、家庭生活では、ほとんどの児童が、祖父母と一緒に生活している。その中で、お年寄りとのふれあいは多い。今後、共に暮らしていくお年寄りについて理解を深めることは、進んでお年寄りとかかわり、手助けもしていくことにつながると考える。

そこで、本研究では、総合的な学習の時間「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」の活動において、お年寄りと交流するために、人とのかかわり方の基本をソーシャルスキルトレーニング（以下SSTとする）で学び、自他理解や自己表現力を高めるために、構成的グループエンカウンター（以下SGEとする）を計画的に取り入れていく。そして、これらを生かして自己のめあてをもち、交流を繰り返す中で、お年寄りの体の不自由さを理解し、かかわり方を学んでいくことが、身近なお年寄りへの理解を深め、思いやりの心をもって積極的にかかわることへつながると考える。

また、このようにお年寄りとの交流を繰り返す中で、自分の考えや行動が認められることによって、その他の場面においても自ら考え、行動できるようになると考え、本主題を設定した。

研究のねらい

総合的な学習の時間における「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」の活動においてSSTやSGEを取り入れることにより、人とのかかわり方や自他理解が深まり、児童が自ら考え、行動できるようになることを明らかにする。

研究の内容及び方法

1 研究の内容

(1) お年寄りとの交流について

ほとんどの児童が自分の祖父母と同じ敷地内で生活をし、日頃交流をしている。そんな中で、自分の言っていることが伝えられなくて困ったり、お年寄りの言っていることが理解できなかった体験をもっている。福祉について学ぶことや交流をとおして、いろいろなお年寄りについての理解を深め、自分にできることを考え、体験することによって、思いやりの心や自ら考え行動する力が育つと考える。また、多くのお年寄りと交流することで、人とのかかわり方を身につけ、そこで自分の考えや行動が認められることによって、自信を持って行動することができると思う。以下の4つをお年寄りとの「交流」ととらえることとする。

- ・相手の話をしっかり聞く
- ・自分の考えを伝えることができる
- ・相手のことを考えて行動できる
- ・知らないお年寄りとかかわることができたという充実感を持つ

お年寄りとの交流体験を介護福祉施設「A荘」において3回、B町社会福祉センターのお年寄りとの計4回計画する。そして、その訪問でのお年寄りとの交流に向けて、SSTやSGEを行っていく。それぞれの交流のねらいを次のようにする。

第1回 自分からお年寄りに大きな声で挨拶できる。

第2回 お年寄りに喜んでもらえるような訪問計画を自分たちで考え、活動できる。

第3回 お年寄りに喜んでもらえる出し物を考え、活動できる。

第4回 お年寄りを思いやり、進んで交流することができる。

福祉について体験し、人とのかかわり方を身につけ、思いやりの心を持ち、積極的に
お年寄りとかかわることができる。

(2) ソーシャルスキルトレーニングについて

積極的に人とかかわりをもたない本学級の児童の実態を考えると、まず人へのかかわり方の基本的な技能を身につけることが大切である。また、高学年になり友達とのトラブルなどで悩み、友人関係がぎくしゃくする様子も見られる。そこで、基本的なスキル(技能)を身につけることで、お互いの意志を的確に伝え合い、自分の特徴に気づき、相手の個性を認めることができるようになり、学校生活の友人関係もよりよくなると考える。そして、人のかかわり方に自信がもて、積極的に人とかかわりをもてるようになると思う。

そこで、本研究では、人とかかわる基本的な技能として次の4つを考えた。

- ・自分から元気にあいさつをする。
- ・相手に聞こえる声で話をする。
- ・相手の顔を見て話をしっかり聞く。
- ・相手に自己紹介ができる。

(3) 構成的グループエンカウンターについて

お年寄りの理解を深めることをねらいとして、他者理解のエクササイズを設定する。また、交流場面で、自己開示し、自己表現を高めることや互いの理解を深められることをねらいとして、発表場面や質問場面の多いエクササイズを設定する。

そして、学習したSGEのエクササイズをもとにお年寄りを思いやり、進んで自己開示しながら交流できるようになると考える。

(4) 自ら考え、行動する児童とは

お年寄りとの交流体験の中では、SSTやSGEを生かして自己のめあてを設定して、お年寄りに進んで声をかけたり、お年寄りのことを思いやって活動したりする児童と考える。そして、その他の生活場面では、自分から声をかけて人とかかわったり、相手のことを考えて行動したりする児童と考える。

2 研究の方法

(1) 研究の対象 小学校6年生 計26名

(2) 研究の実施方法

実施時間：総合的な学習の時間「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」(28時間)

体験活動場所：介護福祉施設「A荘」とB町社会福祉センター 実施時期：6月～12月

(3) 研究の計画

学級の実態を客観的に把握するために伊藤による学級風土質問紙(CCI)を行った。その後、伊藤よりコンサルテーションを受け、「積極的に活動する児童が少ない。個々の人間関係を深めていく必要がある。」という学級の課題が明確になり、その児童の実態に合わせたSSTやSGEをプログラムした研究計画を下記のように立てた。人とかかわり方を学ぶための時間を〔SST〕、自己理解を深めたり、自己表現力を高めたりするための時間をSGE、福祉について児童が調べる時間を《追究》として、実態【SST・SGE・追究】訪問を繰り返していく28時間の計画を図1のように立てた。


自ら考え 行動できる子				思いやりの心 を持ち、積極的 にお年寄りに かかわる姿	
(児童の実態) SST尺度・CCI・児童や保護者へのアンケート・観察や感想					
(第4回訪問) お年寄りを思いやり、進んで交流しよう! 11月					
〔SST〕 温かい言葉かけ 気持ちをはっきりと 伝える 10月	《追究》 B町社会福祉センターに ついて調べよう! 10月	SGE ハートぴったりだあれ? 10月			
(児童の実態) SST尺度・施設の人や教師の観察や感想・児童の訪問ワークシートの自己評価や感想					
(第3回訪問) お年寄りの喜ぶ出し物を考え活動しよう! 9月					
〔SST〕 あいさつのしかた 上手な聞き方 9月	《追究》 お年寄りに喜んでもらえ る出し物をやろう! 9月	SGE いいところさがし 9月			
(児童の実態) 児童の訪問ワークシートの自己評価や感想 施設の人や教師の観察や感想					
(第2回訪問) 自分たちで訪問計画を立て、活動しよう! 7月					
〔SST〕 上手な聞き方 自己紹介 7月	《追究》 介護士さんにお年寄り とかかわり方や仕事につ いて聞こう! 7月	SGE お年寄りの体の不自由さ を知ろう! じゃんけんゲーム 7月			
(児童の実態) 児童の訪問ワークシートの自己評価や感想 施設の人や教師の観察や感想					
(第1回訪問) 自分からお年寄りに大きな声で挨拶をしよう! 7月					
〔SST〕 あいさつのしかた 上手な聞き方 5月	《追究》 介護福祉施設A荘はどん なところだろう! 6月	SGE お年寄りと話しよう! 6月			
(児童の実態) SST尺度・学級風土質問紙(CCI) 児童・保護者へのアンケート					

図1 総合的な学習の時間「福祉について学び、お年寄りと交流しよう」の全体計画

注：○の中の数字は、時間数を表す。

(4) 研究の有効性の吟味

検 証 の 観 点	検 証 の 方 法
<ul style="list-style-type: none"> ・ S S T や S G E を生かして自分のめあてを設定し、体験しているか。 ・ 自分から声をかけたり、進んで活動したりしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の訪問ワークシート ・ 教師や訪問先の職員の観察 ・ ソーシャルスキル尺度 (S S T 尺度) ・ 学級風土質問紙 (C C I) ・ 日常生活の観察やアンケート (児童・教師・保護者)

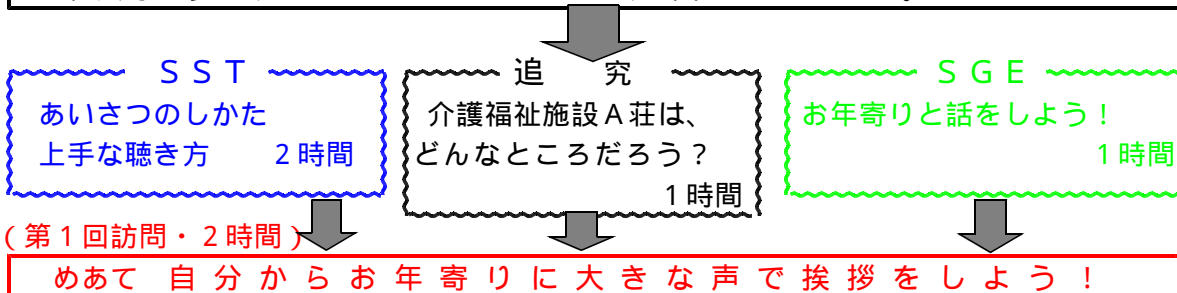
実践の概要

訪問に向けて、児童の実態から S S T や S G E を取り入れ、以下のように実践を行った。

下記に示す《個々のめあて》の中の○の中の数字は、めあてを設定した人数を表す。また、感想については、主なものを記述した。そして、その訪問時の感想や観察を児童の実態とした。

(児童の実態)

- ・ 学級風土質問紙 (C C I) からきまりを守り、すべきことはできる学級である。積極的に活動する児童は少ない。
- ・ 個々の人間関係を深めていくことが必要である。
- ・ ソーシャルスキル尺度からソーシャルスキル尺度 (配慮のスキル 59.7、かかわりのスキル 36.5) は、平均的数値である。
- ・ 保護者のアンケートからお年寄りのことを理解して、思いやりの心を育ててほしい。
- ・ 児童のアンケートから祖母に世話になっている。時々祖父母に言われたことを手伝う。祖父母とうまくコミュニケーションできなくて困ったことがある。



《個々のめあて》

S S T
 上手な聴き方
 自己紹介のしかた
 1時間

追 究
 介護士さんにお年寄りとの
 のかかわりかたや仕事に
 ついて聞こう！ 2時間

S G E
 お年寄りの体の不自由さを
 知ろう！ 2時間
 じゃんけんゲーム 1時間

(第2回訪問・4時間)

めあて自分たちで訪問計画を立て、活動しよう！

各班の訪問計画

1班	自己紹介・リコーダー演奏・じゃんけんゲーム・名刺交換などをしてお年寄りと交流する。
2班	自己紹介・じゃんけんゲーム・折り紙を折ってお年寄りと交流する。
3班	自己紹介・風船ゲーム・上毛カルタをしてお年寄りと交流する。
4班	自己紹介・リコーダー演奏・じゃんけんゲーム・体操をしてお年寄りと交流する。
5班	自己紹介・リコーダー演奏・じゃんけんゲーム・ビンゴ・折り紙を折ってお年寄りと交流する。

《個々のめあて》



自分から大きな声で挨拶する。はっきり、ゆっくり話す。



優しく接したい。たくさんの人と話したい。



お年寄りと一緒に楽しみたい。



お年寄りの手助けをしたい。

感想



大変だったけど楽しかった。
 お年寄りと話るのが楽しかった。
 お年寄りが楽しんでくれてよかった。
 もう少し話したかった。

自分たちで考えた計画で交流したためか、進んでお年寄りに接する姿が多く見られた。
 進んで車椅子を押ししたり、エプロンを掛けてあげたりする姿が見られた。
 交流内容を工夫していた。

観察



感想・観察からの児童の実態

S S T
 上手な聴き方
 あいさつ
 1時間

追 究
 お年寄りに喜んでもらえる出し物をやろう！
 1時間

S G E
 グループ訪問を振り返って「いいとこさがし」
 1時間

(第3回訪問・1時間)

めあてお年寄りの喜ぶ出し物を考え、活動しよう！

《個々のめあて》



自分から大きな声で挨拶する。 はっきり、ゆっくり話す。 優しく接したい。



お年寄りと一緒に楽しみたい。 たくさんの人と話したい。

感想



もっと挨拶が大きな声でできるように頑張りたい。 人への言葉かけがもっと上手になりたい。 相手の気持ちを理解して話せるようになりたい。 自分の考えをうまく伝えられるようになりたい。

顔なじみのお年寄りもでき、にこやかにお年寄りと話したり、体操したりする姿が多く見られた。 進んでお年寄りの所へ行き、体操やゲームをしていた。

観察



感想・観察からの児童の実態

SST
温かい言葉かけ 2時間
気持ちをわかって働きかける

追 究
B町社会福祉センターについて調べよう！2時間

SGE
ハートぴったりだあれ 1時間

(第4回訪問・2時間)

めあて お年寄りを思いやり、進んで交流しよう！

《個々のめあて》



わかりやすく自己紹介や質問をする。 丁寧な言葉遣いで進んで質問する。



自分から大きな声で挨拶する。 顔を見て話を聞き、お年寄りと話をする。

感想



お年寄りにわかりやすく自己紹介ができた。 前より進んで話や質問ができた。 お年寄りに話がわかってもらえて楽しかった。 プレゼントや出し物を喜んでもらえてよかった。 話が続けてよかった。

今回は、お年寄りとの1対1の交流だったが、それぞれが進んでお年寄りに近づき、話をしていった。 訪問後のワークシートからもお年寄りとの話のやりとりが続いた様子が見えた。

観察



研究の結果と考察

1 SSTやSGEを生かしてめあてを設定し、体験しているか

実践の概要に示したように、それぞれの訪問のめあてをもとに児童は、自己のめあてを持って訪問を行った。個々の児童のめあてを見ると訪問前に学んだSSTやSGEを生かしたり、前回うまくいかなかった点をめあてとして設定したりしていることがわかる。児童によっては「大きな声で挨拶する」というめあてを自分で実践できるようになるまで毎回設定して、取り組んでいた。

また、図2からもわかるようにSSTやSGEを生かして自己のめあてを持ち、体験を繰り返すことで、実践の場での達成感が上がっていったと考えられる。そして、下記に示すA荘職員の方の感想からも訪問を重ねる度に児童が、積極的に体験をしていったことがわかる。



【A荘の職員の方の感想】
訪問の度に1人1人が進んでお年寄りの中に入っていく姿が多くなった。

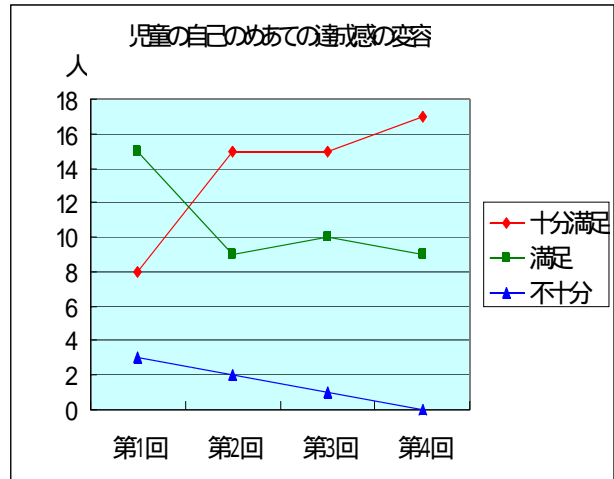


図2 自己のめあての達成感の変容

2 自分から声をかけたり、進んで活動したりしているか

(1) 児童・保護者へのアンケートから

表1から、実態に合わせてSSTやSGEを行い、施設訪問を繰り返す中で、児童がそれを生かしてお年寄りと接し、人とのかわり方を身に付けていったことがわかる。

表2から、施設訪問での体験が自信となって、学校や家庭生活においても思いやりの心を持って自分から進んで人にかかわるようになってきたこともわかる。

また、12月のCCIの結果から、積極的に活動する児童が増えていることもわかった。

そして、下に示す保護者へのアンケート結果からも祖父母への態度が変化したり、人への接し方が変化したりしてきていると言える。

表1 訪問先のお年寄りに対して自分が変わっていったこと

お年寄りに自分から話しかけられるようになった	8人
自分から挨拶するようになった	6人
挨拶が大きな声でできるようになった	4人
お年寄りに気遣いができるようになった	3人
お年寄りと話せるようになった	3人
言葉遣いが良くなった	2人

表2 学校生活や家庭生活上で自分が変わったこと

下級生と親しく話せるようになった	8人
下級生と一緒に遊ぶことが多くなった	5人
下級生に少し優しくなった	5人
家の人や祖父母と話すことが多くなった	3人
祖父母に優しくしたり、手伝いをしてあげたりするようになった	3人
あまりしゃべったことのない人と話すようになった	2人

保護者へのアンケート



- ・半身麻痺の祖母に対して、自然な形でお手伝いをしてくれるようになった。
- ・体験を話してくれ、お年寄りの苦労を理解したようです。
- ・お客様に大きな声で挨拶したり、自分から話しかけられるようになりました。
- ・自分のおじいちゃんによさに気づいたようです。
- ・お年寄りに喜んでもらえて、接し方もだんだんわかってきたようです。
- ・家の祖父母に対して態度が少し優しくなったようです。

(2) ソーシャルスキルのかかわりの尺度の変化

下記に示す図3は、個々の児童のSSTのかかわりのスキル尺度の変化である。第4回目の訪問後では、かかわりの尺度が良好になった児童が12名となり、尺度の低い子が4名になった。体験後スキル尺度が上がる子ばかりでなく、個々の児童によってスキル尺度の変化が違うことがわかった。低い児童は、少しずつであるが数値的には上がってきた。

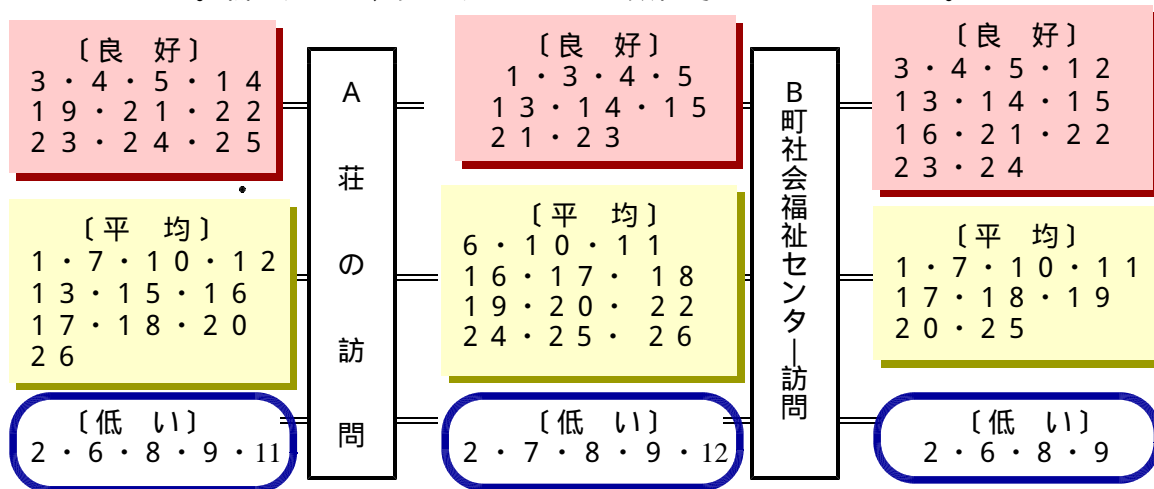


図3 ソーシャルスキルのかかわりの尺度の変化

研究のまとめと今後の課題

総合的な学習の時間「福祉について、お年寄りと交流しよう」の中で、人とのかかわり方をSSTで学び、自他理解をSGEで深め、施設訪問を繰り返したことで、自分から積極的に挨拶をしたり、相手のことを思いやりの行動がとれるようになってきたりした。これは、児童が常にSSTやSGEを生かしたためあてをもって交流し、その体験の中で自己充実感を得ることができたからだと考える。そして、その施設の体験が自信となり、お年寄りに対してだけでなく、学校での下級生や友達、家庭のお年寄りとのかかわりへと発展していったと思われる。

このように、この総合的な学習の時間に児童の実態に合わせたSSTやSGEを計画的に設定したことによって、児童が人とのかかわり方を学び、自他理解を深められ、自ら考え、行動できるようになったと考えられる。

今後の課題としては、かかわりの低い児童には、個別にトレーニングを組んだり、みんなの前で賞賛する機会を多くしたりする必要があると考える。

引用・参考文献

- ・小林正幸 相川充 編著 ソーシャルスキル教育で子どもが変わる 図書文化(1999)
- ・岡田弘編集 エンカウンターで学級が変わる 小学校編 図書文化(1996)
- ・国分久子 岡田弘 編集 エンカウンターで学級が変わる Part 2 図書文化(1997)
- ・伊藤垂矢子・松井仁 2001 学級風土質問紙の作成 教育心理学研究 49 449 - 457